
洋平君の好きな人

抹茶小豆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

洋平君の好きな人

【Nコード】

N9311J

【作者名】

抹茶小豆

【あらすじ】

何気ない公立高校のある日常。

友人たちは彼女欲しさに合コンをしようと言いはじめる。

それは公立高校のなんでもない日常の風景。
昼食を終え、教室の真ん中で数人の男子生徒が談笑している。

「あゝ彼女欲しい！」

二宮は椅子にもたれて天井を仰ぐ。

「そつだ！合コンしよ。合コン」

名案だとばかりに二宮は手を打つのだが、
その時、洋平の心に一人の女性の顔が浮ぶ。

「俺は・・・いいよ。」

そう言って寂しそうに微笑むと、二宮がしたり顔で、洋平を覗きもむ。

「はは〜ん、さてはお前好きな人いるんだろ？」

凶星だとばかりに、洋平は赤面する。

「誰だ？誰だ〜？」

好奇心をむき出しに、友人たちが洋平に問いかける。

「ヒントくれよ、ヒント。」

「え・・・っと、年上の女性、なんだ。」

洋平は言いにくそうに口ごもる。

「あつ分かった、3年の佐々木先輩だろ？やっぱり、あく俺も分かるわ〜胸でつかいし……」

木村がさも納得と言った様子。

洋平は静かに首を振る。

「俺の好きな人は、もつと年上だし、胸ももつとでかい。」

「あつわかった、英語1の益田理恵ちゃん？」

「洋平、お前〜教師を好きになるなんて、けっこうやるな！」

なにがやるのかは全く検討がつかないが、友人どもは洋平を肘でつつく。

「ちがうよ」

洋平はまた静かに首を振る。

その仕草、表情は、彼が苦しい恋をしているかのような、恋にやつれた艶めいた風情を漂わせ、友人たちを哀れませた。

「俺たち、何でも協力するから！言ってみろよ！」

「望みの薄い、恋なんだ」

「そんなこと、告白してみなきゃ分からないじゃないか」

友人たちは真剣に洋平を励まそうと、必死だった。

「いきなりは、無理でもまず友達から、とかさ。」

「友達も、きつい……かな」

「どうしたんだよ、その人彼氏がいるのか？」

いや、亭主と子供と・・・孫も、多分。

俺の好きな人は・・・

『購買部のおばちゃん』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9311j/>

洋平君の好きな人

2011年1月16日09時13分発行